

令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和3年5月）会議録

日 時：令和3年5月13日（木）午後6時00分～8時00分

出 席：大槌 加藤 広瀬 浅見 岩元 小林 増田

事務局：石川 俣本 石井（高松学習館）

欠 席：長谷川 小笠原 森

1 開会のあいさつ

大槌：3回目の緊急事態宣言が発令された。学習館の利用が午後8時までなので、本日の会議も7時50分までに終わるように大事な部分を効率よく進めたい。

石川：次回の会議開催時間について、日中の開催が可能なら日中の実施をお願いしたい。前期施設整備計画整備順序方針について、西砂は特に関わりはないが、配布させて頂いた。

2 協議事項

（1）地域学習館運営協議会交流会について

・開催日時と会場

令和4年2月19日（土）午後1：30 本庁302会議室

・交流会の概要

・西砂学習館運営協議会としての実施案

・西砂学習館運営協議会の発表案

大槌：交流会の説明で高松学習館の石井係長がきた。

石井：交流会は輪番制でやっていたが仕組みを変えた。また、新たに各代表者の連絡会議を設けた。連絡会議のメンバーは生涯学習の実践で活躍している、運営協議会会長、市民推進委員会会長、市民リーダーの会会長等の予定。交流会については、今まで「交流会」という名称で行っていたが、事務局からのフォローもなかったこともあり実際の中身は交流会では無かった。なので、ちゃんとした交流会をしたいと思っている。それが可能な地運協が西砂であった。西砂学習館の運営協議会委員の皆さんは今までの交流会が本当の交流会では無いことに気づいていたのではと感じる。委員が交流できる場を作りたいと思い、それには理解できている館ということで、順番を変えても西砂にお願いしたいと思った。受けて頂きありがとうございます。コロナ禍の交流会であるが、この地運協ではアイディアを出して立派にやっていただけていると思っている。交流会の中身は西砂学習館に一任したいと代表者連絡会で承認を得るつもりでいる。機関紙を出しているのは西砂だけ。このような良いものは各館共有したいと考えている。他には高松学習館や幸学習館では健常者も障がいがある方も参加できる「誰でもコンサート」を実施している。このように良いものは共有して他館でもできる流れを少しでも作りたいと思っている。

岩元：砂川学習館で実施した交流会に前回参加した。以前から行っていたのでしょうか。

石井：以前から行っていたが、研修と一緒に、集まって皆でワークショップをしていたのが「交流」となっていた。委員同士の交流が本当にあったのか疑問。各地運協の事例の報告は文書でも出来る。事例の発表会が交流会では無い。西砂学習館運営協議会企画の講座に参加したが、こちらにお任せしたら、皆が満足して交流できると確信している。

大橋：幸学習館が担当となり本庁で交流会を行ったときは、大学生を全ての学習館で使える話をしたかった。この地域も若い学生を取り入れて活動が出来たら良いと思うが、接点がない。6館どこでも大学生に来てもらえる仕組みを考えていきたくかった。あの交流会に大学生が2名参加していたので、住んでいるエリアの学習館にあなた自身が関わっているか、関わっていない場合は何故かなど、生の声を聞きたかった。そのようなことを学びたかった。でないと、中心部から遠いこのエリアは、道が閉ざされてしまう。立川市が行っている学社一体、大学との連携を打ち出しているが、都心部の為にあるのであって、この離れているエリアでは恩恵が回って来ない。うまくいかないところについては、話し合いをして全館どこでも同じ状況にする、活性化する方策を練ることができないかと、そのような話をあの会でしたかったと思った。倉持先生にお聞きすると、交通費が出ない中で学生に声がけするのは難しいとのことだった。

石井：発表を受け身で聞くだけでは交流にはならない。それについての疑問を感じられていたのは西砂の運営協議会。交通費の予算については、職員が予算要求してもつかない。市民要望という後ろ盾がないと厳しい。

加藤：今大学生と行っているのが錦学習館と幸学習館。なぜかという、運営協議会の会長が大学の先生で、ゼミの学生が参加している。ゼミの一環で学生達は学習館に来ているので、交通費が市からは出せない。大学のゼミに関係なく大学生に参加してほしいと感じる。推進委員会でもこの様な話がでている。学習館が持つ課題を6館で話し合い意見交換できれば良い。

岩元：大学生を使う、それができることはそれを否定はしない。生涯学習を考えたときに学生が来なくても、地域の若者の声を聞けるような仕組みを考えることが大事。大学生を招く必要はないと思っている。子育て世代、高齢者対象を行っていて若者の部分は抜けているが若者は自分達でスマホやSNS等沢山居場所がある。

加藤：西砂ではサマーイベントを行っている。午後は宿題、その時に、学生に来てもらい、サポートして貰っている。地運協でのイベントで学生に来てほしいものがあれば連携して貰うのが良い。

岩元：ジュニアリーダーは意識のある子どもが参加している。この子ども達に意見を聞くことは可能かなと思った。

広瀬：他館に学芸大の学生が来て、地運協と一緒にいるが意味を感じなかった。

大橋：委員に大学生が入ると、違う視点で講座の立ち上げ、話が出てくるのではと思う。学校の先生が入ると推進しようとしているところの協議ができる。

石井：高松学習館では学芸大の学生にゼミの一環で子どもを対象とした「子ども科学遊び隊」を行ってもらっている。実験材料代位の謝礼をお支払いしている。学校の先生は地運協にはどこにも入っていない。西砂の運営協議会は地域人材の開発は実際にできているのではと思う。若い人の声が届いていないという危惧はあるが、地域の掘り起こしは出来ていると思う。

岩元：地域性がある。西一のこの地域ならではの生涯学習が実施できたらと思う。ここできまできることを考えていきたい。6館の特質を生かした行事計画をできていて交流会で交流できるならと思う。

石井：お互いの良い所を取り合い、足りない部分は気づきの場になればと思う。

広瀬：代表者連絡会議、交流会をやるとのこと本当に良かった。

石井：代表者連絡会議はトップが集まる会議なので、実施回数も年1回と拘らなくても良い。必要なものは予算化したい。この大橋会長作成のパネルも素晴らしい。交流会は自由な発想でやって頂ければと思う。

岩元：時間もあるので考えることはできる。

大橋：この後、具体的に皆さんの意見を聞きながらまとめていく。

石川：交流会の中身はなるべく他館もできるところで、学社一体という共通な話題にして、発表会というより、交互にやりとりができる会になれば良い。サマーイベントは産直会の他館には無いメリットがあり、西砂以外は難しいのかなと思うので、学社一体がやりやすいのではと思う。

大橋：詳細は後程決めていく。

(2)「第2号 西一元氣通信～西砂学習館便り～」について

- ・1面「西砂学習館のあゆみ」について
- ・2面 中止の「第41回 西砂学習館まつり」で伝えたかったことについて
⇒ 運営協議会が取り組もうとしていること等
- ・3面「西砂サマーイベント（当運営協議会が目指すもの）」について
- ・4面「地域の方々から当運営協議会に望むこと」について
- ・発行日は7月1日

大橋：次号の発行は7月1日。4面を使った形。4面は地域団体のお言葉として各学校長のお言葉を予定していたが、もし小学校の校長の立場で、地運協の活動に対してなんらかの言葉を述べることを考えた時に自分なら難しいと思った。学習館についてなら書けるがその中にある地運協の組織の活動となると難しい。一言なら書けるが、文章として何行もあると難しいと思った。そうすると、地域団体よりは、まずは学習館の機関紙を出すという事で生涯学習推進センター長に期待や願いを書いて貰えたらと思った。地運協のやるべきことを考えた時に地域の良さを出来るだけ沢山の方に興味関心を持つ

てもらい、住んで良かったと思ってもらうこと。地域の情報を小出しにしていけたらと思う。構想があり、5年、10年と続き、綴じ合わせた時に地域の歴史が1つの物にまとまるものにしたかった。なので、方言や伝承を書いた。そのような専門書もあるので、転記もできる。学校長への言葉は、サマーイベントが終わりその時の写真を見せてからであればコメントも書きやすいかと思う。防災講座後は自治連会長にお願いできる。

増田：統括しているセンター長に是非肝を入れて書いてほしい。

大橋：書いて頂き勇気づけて貰いたい。

増田：立川で市史編さん広報紙「たちかわ物語」が発行された。地元の言葉が載った冊子もある。

加藤：講座情報誌「きらり・たちかわ」の夏号に立川の昔話や関連する写真を載せた。

大橋：知って頂くと地域をもっと好きになるのではないのかなと思った。問題はタイトルを何にするか。来月の会議で検討したい。できたら浅見委員お持ちください。

3 令和3年度地域活性化講座について

(1)「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

《スケジュール》

開催日	講師名	内 容	午後のイベント
8/3	岩間 美頭	【今後調整】	なし 夏休みの宿題に集中
8/10	西砂図書館	飛び出す絵手紙を作ろう！	西砂児童館にお願い
8/17	片江 安巳	【今後調整】	【要検討】
8/24	目黒 一幸	どんぐり工作	【要検討】
8/31		太極拳	【要検討】

注意 8/24：西砂小 算数教室、8/31：西砂小 登校日

《確認事項》

・昼食の提供について

・午後のイベント

⇒ 予算総額（講師謝礼）8,000 円

都立多摩図書館から上映無料の映画フィルム（魔女の宅急便）借用上映？

射的など昨年と同じ企画（無料）？

・その他お気付きの事柄

石川：書いている通りのスケジュールで行っていききたい。浅見委員には太極拳の先生に繋いで頂いた。講師が決まれば方向性が決まる。講師に確認しやりたいことで進めていきたい

いと思う。問題なのは午後のイベント。8月17日、24日、31日が未定。予算は8,000円。1つは射的等、私が子どもの喜びそうな内容を考える。もう1つは、都立図書館に無料の16ミリフィルムがあり、魔女の宅急便が借りられることができる。時間潰しになるがこのようなこともできる。

俣本：16ミリフィルムは他にも沢山ある。

大橋：フィルムを選定して映画会も良い。

石川：チラシ作成もあるのでなるべく早くに内容を決めていきたい。

大橋：次年度講座を組む時、今年度の様子を検討して、次年度どうするか十分反省をして決めていきたい。昼食の提供は昨年度と同様で無い。

広瀬：午後のイベントに音楽を入れられたら良い。国立音大学生に頼めばボランティアで協力してくれるかもしれない。

大橋：羽衣エリアで、アイリッシュハーブを弾く方がいた。西砂児童館でやっていたこともあった。

岩元：フルート専攻で国立音楽大学大学院に行っている知り合いがいる。

広瀬：演奏の形にするか、音楽で遊ぶか。

岩元：フルートの方には可能性があるか聞いてみる。

広瀬：ピアノ教室が地元にあるので、その先生にお願いしても良い。

（2）「にしすな夜間塾〈第5弾〉」について

- 日程
- 開催場所
- 講座の内容

石川：小笠原館長が欠席なので、詳細は次回の会議で決めたい。

大橋：やって欲しい内容があれば次回お知らせください。

（3）「認知症予防講座」について

- 日程

岩元：次回以降で決めたい。

（4）「西砂川での災害を考える〈第5弾〉」について

- 日程（11月中の開催）
- 講座の内容

石川：そろそろ内容を決めたい。

広瀬：防災課の課長に来てもらうのか。

石川：概ね防災計画だけの内容になるかと思う。

増田：消防費の予算を見ただけでもわかる。

広瀬：災害でなくても、リサイクルセンターの話しにしても良いのでは。

岩元：SDGS が浸透してきている。17 の目標と関連して講座が出来たら良い。私たちが身近で取り組める視点の講座も良い。

石川：自治連には秋に防災講座をやるからご参加下さいと連絡をしている。自治会が絡む内容にして頂けたらと思う。

加藤：リサイクルセンターがこの地域にあり、見学に行った。とても面白い。推進委員会でも計画をしている。

浅見：昨年のテーマを拝見すると、コロナ禍の災害としていたようだが。

大橋：西砂川での災害を考える＜第3弾＞「みんなで考えよう！避難所運営」の講師は立川市災害ボランティアネットをお願いをした。グループに分かれ HUG（避難所ゲーム）をしたが時間が足りなく、課題をどう振り分けて良いか分からないうちに終わってしまった。

石川：HUG をもう一度やるのはどうか。

大橋：理想にしていたのは、自治会の担当者が来てくれたら良いなと思った。

岩元：9 月に自治連支部が防災講座をする予定をしている。内容が分かれば、かぶらないように考えられる。そろそろ計画を始める頃だと思う。

大橋：6 館の館長に防災関係の講座で内容的にも良かった情報を頂くことはできるか。

加藤：立川市災害ボランティアネットでやって良かったことをしても良い。

石川：以前「目黒巻」（災害時の状況を自分自身の問題としてイメージするトレーニング）を行おうとしたができなかった。

浅見：対面でのグループワークはコロナ禍でどれだけできるか分からないが、「クロスロード」（カードゲーム形式の防災教材）と言うゲームがある。グループにクロスロードの問題カードが出され、例えば自分が川沿いに住んでいたとして、防災無線で避難勧告が出た場合に今すぐ避難をするか、待機するか考え、その理由を聞き合い、お互い気づきができる、話すことが大事なゲーム。災害時に起こりうる悩ましい体験について想定していると少しでも不安を減らすことができる。地域ならではの問題カードを選んで行っても良い。

石川：問題カードに対しての答えはあるか。

浅見：ない。

大橋：議事録がまとまったところで次回の会議で内容を詰めていく。

4 協議、報告及び連絡事項

（1）前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

・生涯学習係より連絡待ち

⇒ 辞令をまだ渡していないとのこと(4/28 現在)

石川：辞令を渡していない方もいるとのこと。センターからストップがかかっている。センター長からは係長会議で最低でも顔合わせをするようにと言われている。

(3) 「西砂学習館まつり」中止

石川：人が集まるお祭りは避けたほうが良いのではとなり、実行委員長、副実行委員長、事務局で検討した結果中止とした。同じ時期に学習館祭りを開催する高松学習館、柴崎学習館も同じく中止としたとのこと。

(4) きらり夏号の「きらり★かわら版」に西砂サマーイベントの記事掲載について

石川：配布資料参照。この記事を載せる。

(5) フリースペースについて(報告)

小林：まだ再開していない。

(6) 各委員から報告及び連絡事項(報告)

加藤：夏号が6月半ばに発行。砂川地区の昔話をベースに写真で紹介している。長谷川委員に紹介して頂いた松明祭りの写真を載せている。表紙は西砂学習館近くにある給水塔の写真。西砂地区の情報が色々載る。コロナの関係で「犬との楽しい暮らし方」は4月、5月が延期になった。

広瀬：シルバー大学では福祉会館でボイトレ講座を行っているが5月は4週目まで休み、最終週の1回行う。シルバー大学の発表会は展示のみで演奏はやらないこととなった。

浅見：まちねっと5月号参照。この号までは進藤さんが担当で、次回10月号からは自分が担当となる。提案で、若者にも学習館に参加して頂きたいというお声があり、例えば、夏休み期間の「夏！体験ボランティア」を利用して、1つの受け入れ先として、この会議に体験で学生に参加してもらいご意見を頂くとかできたらと思った。

岩元：文化会、青少健の総会は書面評決で総会が成立して今年度の活動がスタートした。現状は何もできていない。

小林：前回の会議は病気でお休みをした。今は回復している。

増田：財政を考える会では会場が使えるときは活動を進めたいと思っている。

石川：西砂学習館が都議会議員選挙から期日前投票の会場になる。6月26日、27日に西砂学習館で期日前投票ができる。その為に光回線を引く工事を行った。立会人は音大生とのこと。「夏！体験ボランティア」について、今年から方針が変わった。今までは冊子での紹介であったが、今年からはデジタル化の流れがあり動画を作り、社会福祉協議会のHPにアップするとのこと。楽しそうな所にボランティアが来るのではない、映像

は無いが、写真があるので、良い写真を繋げてフォトムービーを作りアップしたい。

岩元：文化会のお知らせを配布するリストに学習館運営協議会会長が入っていなかった。何か理由があったのか。考え方を教えて頂ければ。

加藤：LAN は視聴覚室にはいるのか。

石川：光回線が視聴覚室に入った。Wi-Fi ルーターがあればWi-Fi が使えるが、センター長から全館足並みを揃える為に使用不可と言われている。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、 6 月 15 日（火）午前 10：00～ 視聴覚室

＜配布資料＞

- ・〈資料 1〉 令和 3 年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料 2〉 西砂学習館運営協議会 令和 3 年度地域活性化講座（案）
- ・きらり夏号の「きらり★かわら版」記事
- ・「西一元氣通信 第 2 号」紙面案
- ・地域運営協議会の開催日程について
- ・アンケート（会長提供資料）
- ・掲載内容等についての代案提案（会長提供資料）